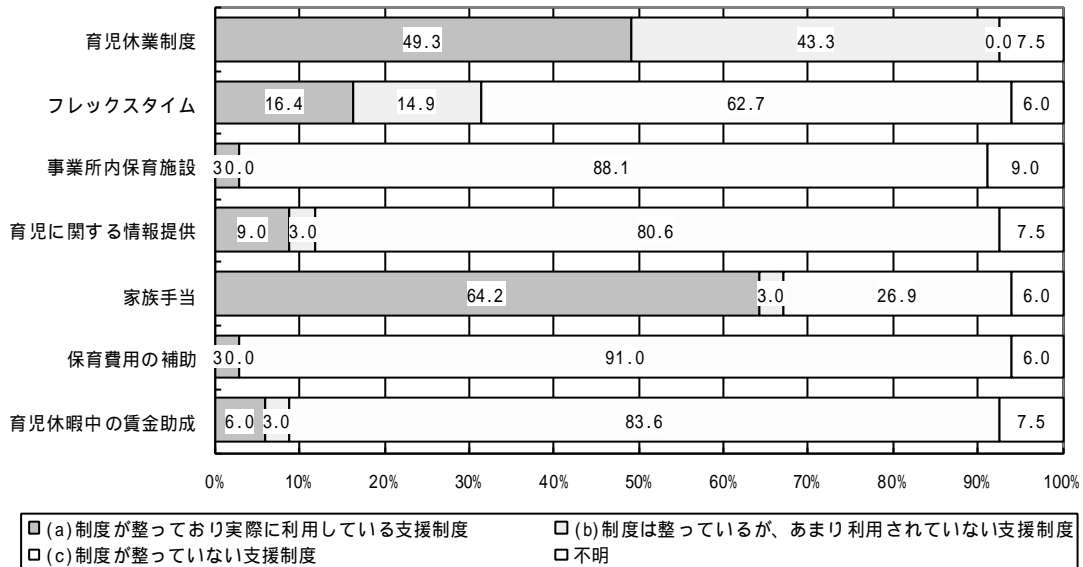


「ワーク・ライフ・バランスに関する調査」結果の概要について

県内企業の調査結果

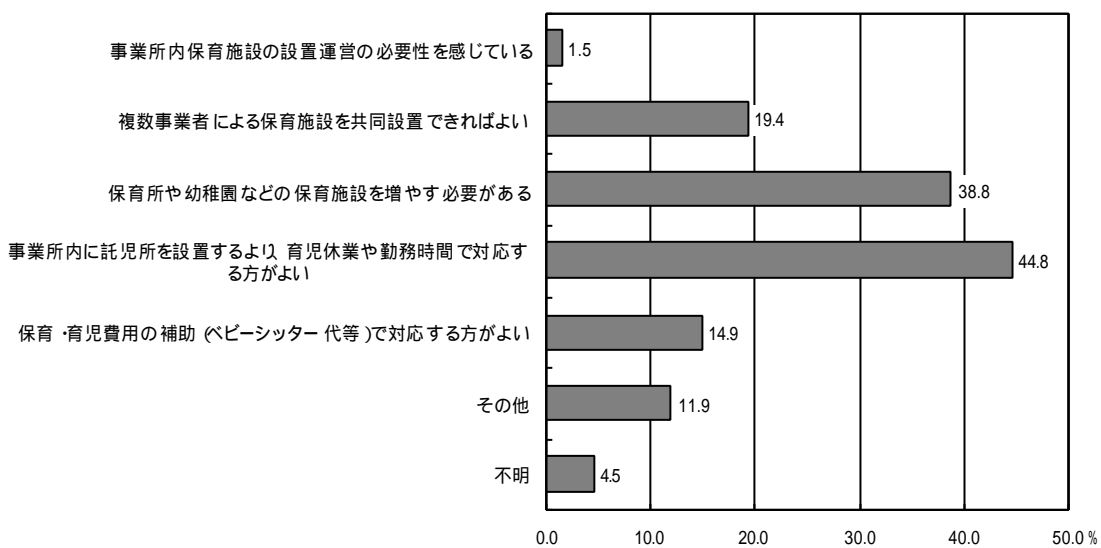
1 ワーク・ライフ・バランスを促進する支援制度

支援制度について最も利用されているのは、家族手当で、次が育児休業制度となっています。



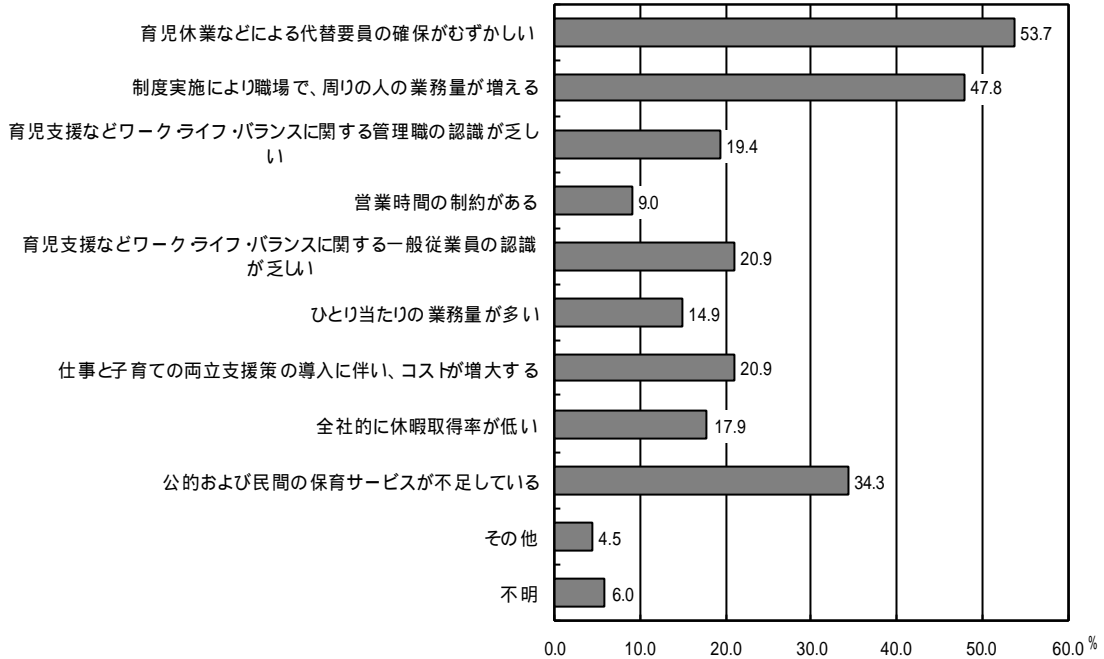
2 保育施設の必要性(複数回答)

保育施設を共同設置できればよいと考えている企業は 19.4% (13 社) となっています。



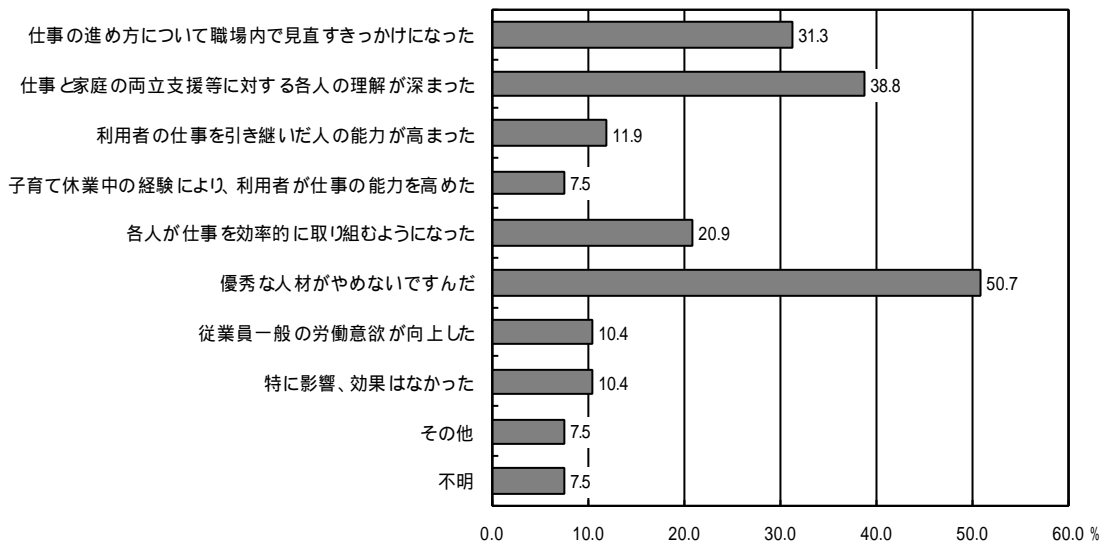
3 ワーク・ライフ・バランスを推進する上での問題点（複数回答）

推進する上での問題点では「育児休業などによる代替要員確保のむずかしさ」や「制度実施により周りの業務量が増えること」が多くなっています



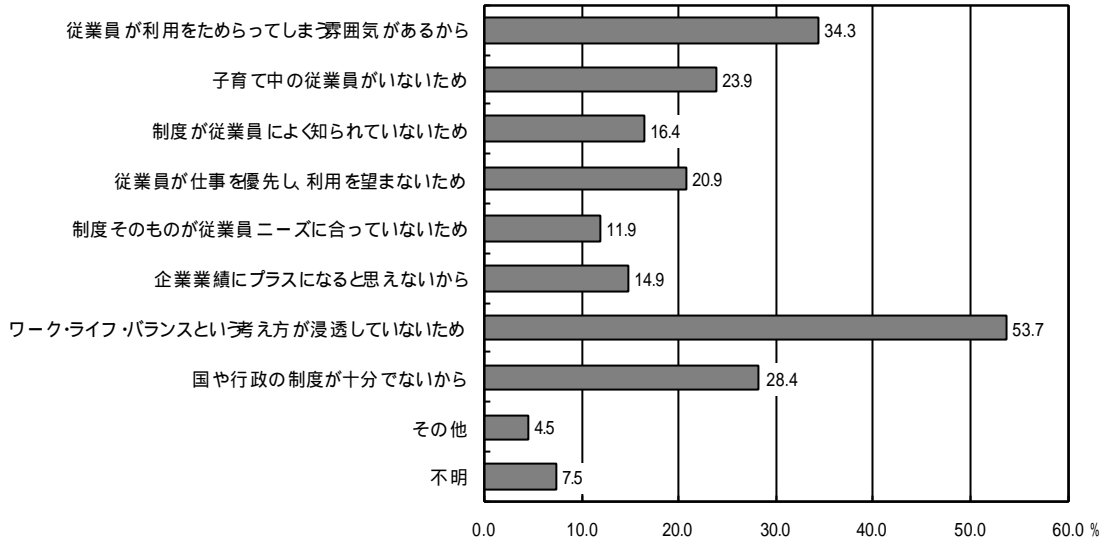
4 ワーク・ライフ・バランスを推進する上での利点（複数回答）

利点については、「優秀な人材がやめないですむ」が 50.7%と最も多く。次いで、「仕事と家庭の両立支援等に対する各人の理解が深まった」が 38.8%となっています



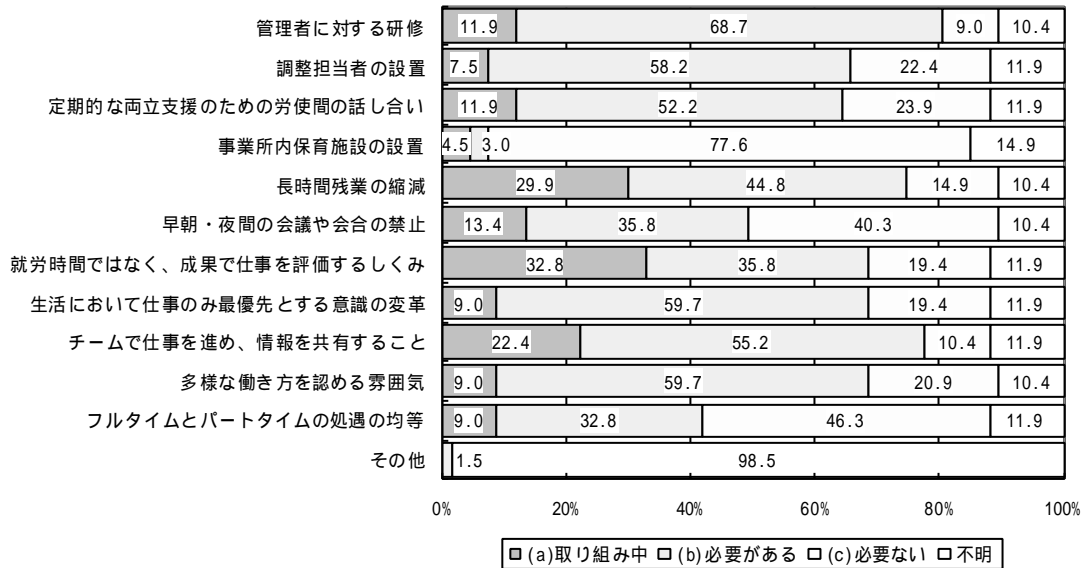
5 両立支援制度を導入しにくい要因（複数回答）

制度導入の疎外要因として、「ワーク・ライフ・バランスの考え方が浸透していない」が53.7%と最も多く、「従業員が利用をためらってしまう雰囲気がある」も34.3%と多くなっています。



6 ワーク・ライフ・バランスを推進するために必要なこと

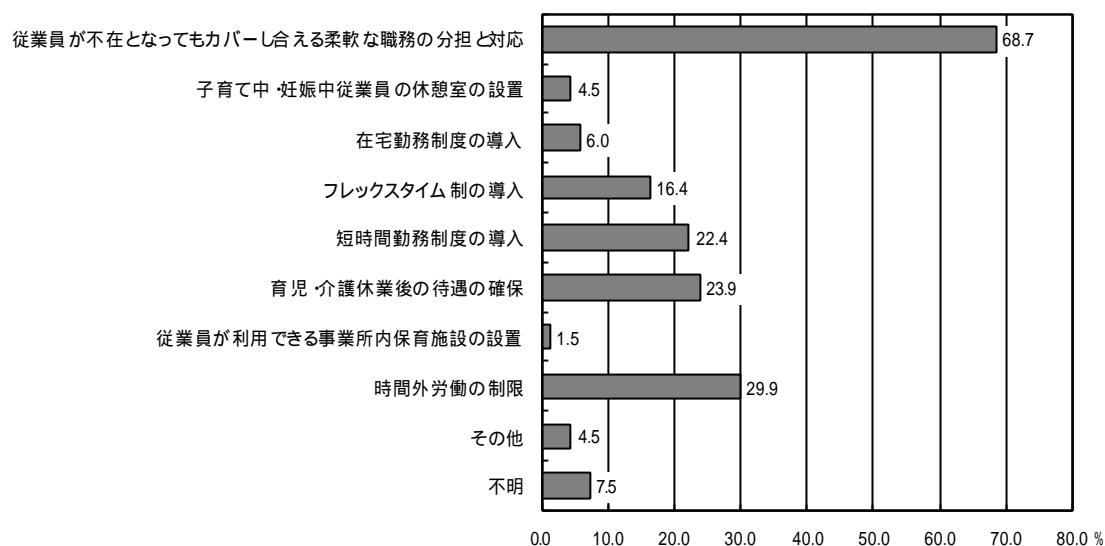
推進にあたってこれから必要なことは、「管理者に対する研修」が最も多く、次いで「仕事のみ最優先とする意識の改革」「多様な働き方を認める雰囲気」となっています。



7 これから取り組みたい両立支援制度（複数回答）

これから取り組みたい制度では、「従業員が不在となってもカバーし合える柔軟な職務の分担と対応」が68.7%と最も多くなっています。

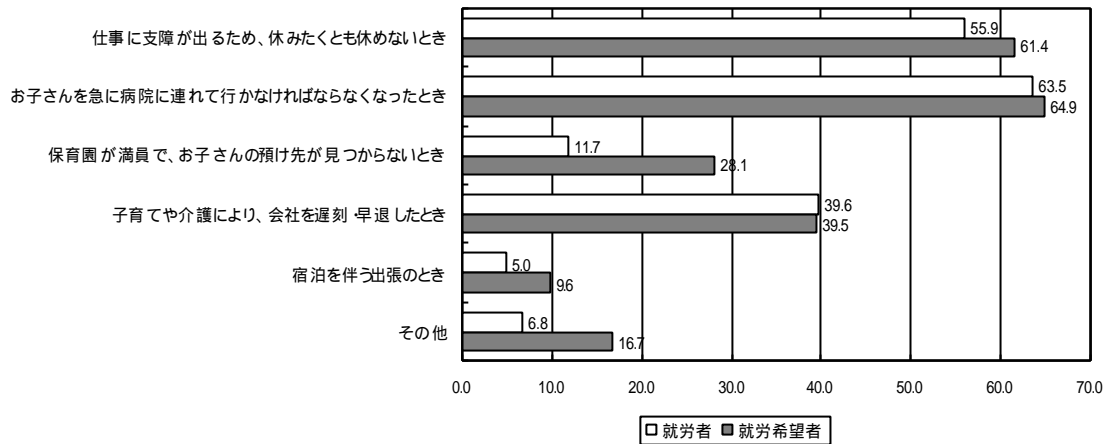
また、「時間外労働の制限」も29.9%と高くなっています。



就労者、就労希望者の調査結果

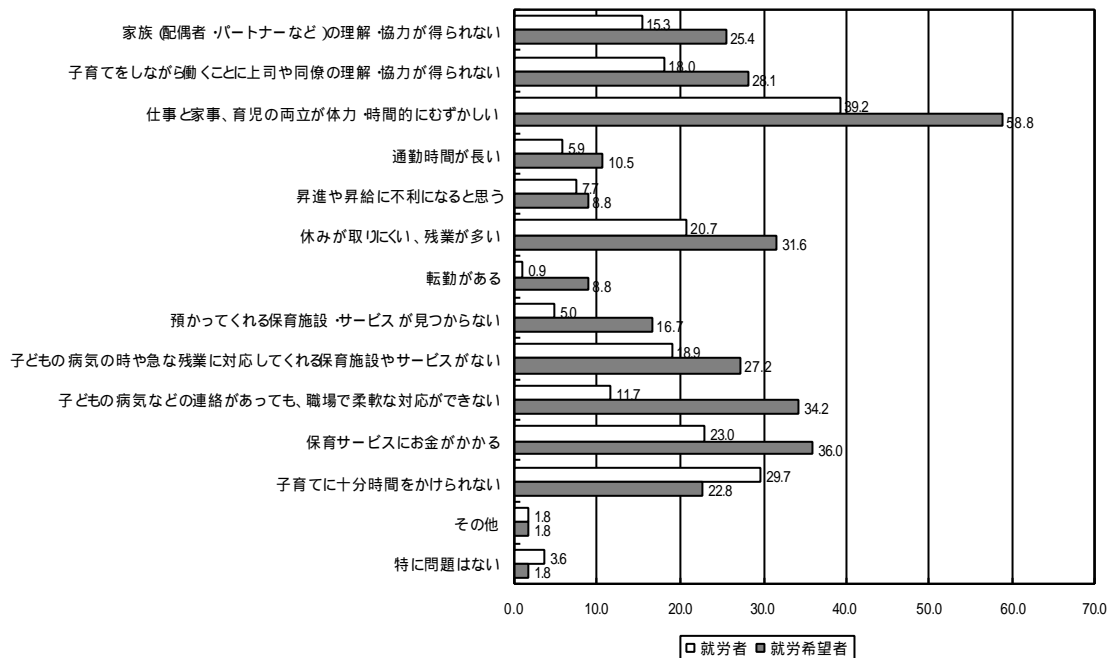
1 子育てしながら働く上で、困ったこと（複数回答）

「子どもを急に病院に連れて行かなければならないとき」や「仕事に支障が
 するため、休みたいとも休めないとき」が多くなっています。



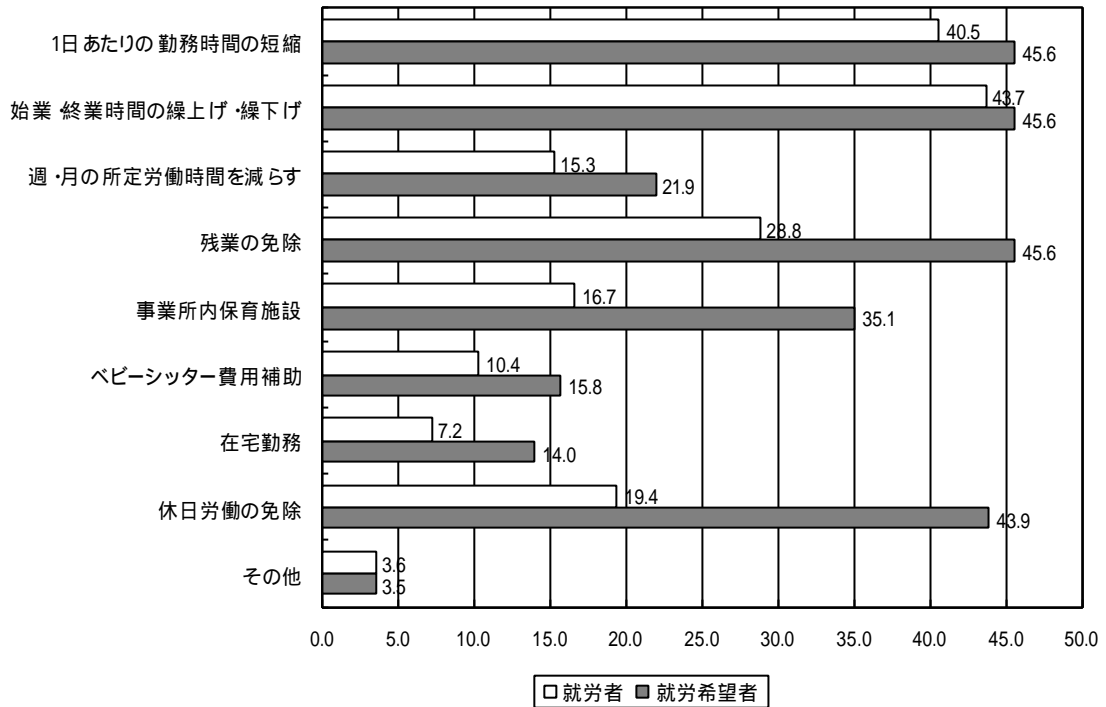
2 子育てをしながら働く上での問題点（複数回答）

子育てをする上での問題点では、「仕事と家事・育児の両立が体力・時間的に
 むずかしい」が最も多くなっています



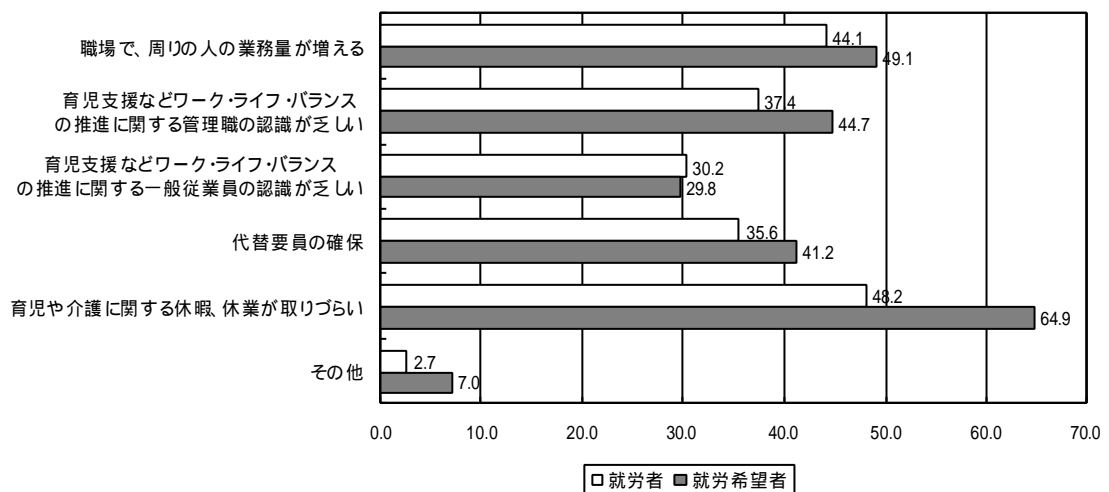
3 会社の育児支援で利用したいもの（複数回答）

育児支援で利用したいものは、「始業・終業時間の繰上げ・繰下げ」、「1日あたりの勤務時間の短縮」、「残業の免除」、「休日労働の免除」の順となっています。



4 ワーク・ライフ・バランスを進めていく上での職場環境の課題（複数回答）

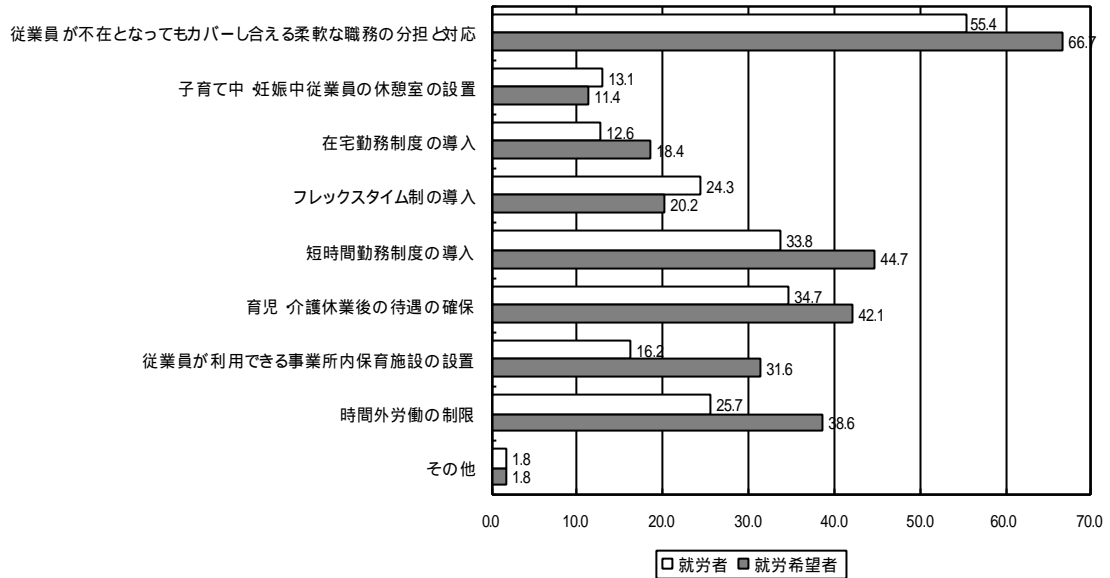
職場環境の課題では、「育児・介護休暇を取りづらい」、「周りの人の業務量が増える」、「ワーク・ライフ・バランスに関する管理者の認識不足」が多くなっています。



5 会社にこれから取り組んでほしい制度（複数回答）

取り組んでほしい制度では、「従業員が不在となってもカバーし合える柔軟な職務の分担と対応」について過半数の人が希望しています。

「短時間勤務制度の導入」や「育児・介護休業後の待遇の確保」の要望も高くなっています。



6 育児休暇を取得してよかったこと（複数回答）

子育てに安心して取り組むことができたなどのほかに、仕事の進め方を見直すきっかけになったとの回答もあり、ワーク・ライフ・バランスに取り組むメリットを企業側、就労者側で共有していく必要があります。

